

# 令和6年能登半島地震被災者・支援者証言収集事業（R7年度） 募集要項

## 1. 趣旨

令和6年能登半島地震の被害状況や復旧・復興の過程で得た教訓・ノウハウ等を、後世に継承するとともに、国内外に共有し、今後の災害対策や防災教育等に活かしていくため、被災者・支援者それぞれの立場で、どのように対応し乗り越えてきたのか、今回の経験からどのような教訓を得たのかなど証言を収集します。収集した証言については、石川県が開設したWebページ「令和6年能登半島地震アーカイブ 震災の記憶・復興の記録」及び大学コンソーシアム石川のホームページ等にて順次公開していきます。

## 2. 事業スキーム

- ・大学コンソーシアム石川が、石川県からの委託を受け、所属機関に募集を行います。
- ・募集対象は、県内大学等のゼミ等です。

※大学等：石川県内の大学、短期大学、高等専門学校

ゼミ等：ゼミナール、研究室、学生団体（部活・サークル含む）、地域連携専門部署等

- ・本事業の参加申込にあたり、必ず指導教職員をつけてください。学生のみでの申込みはできません。

## 3. 事業内容

### （1）事業期間

委託日～令和7年11月14日（金）

### （2）活動地域／証言者（令和7年4月現在）

市町	穴水町	志賀町	七尾市	能登町	輪島市
証言者数	10	15	7	13	18
必要日数	4	5	3	5	6

※証言者については、原則各市町が選定します。

### （3）実施内容

- ・被災者等の証言を収集するとともに、その様子を映像及び写真で撮影する。

（インタビューの内容は別途お知らせします）

＜映像形式＞

- カラー、1名あたり1～2時間程度、アスペクト比は16:9
- 解像度は、フルHD(1920×1080ピクセル)
- データ形式は、MPEG4
- 定点撮影、アングルは上半身を写したもの



※映像のアングルイメージ

#### <写真形式>

- カラー、1名あたり 20枚程度、様々な角度から証言者や証言聞き取り時の様子などを撮影
  - 解像度は 300dpi 以上、画素数は 2,000 万画素以上 (データ形式は JPEG)
- <留意点>
- インタビュアーは学生 2名程度と、それを補助する指導教職員が必ず同席し、  
証言者が緊張しないよう 1班 3名程度 (少人数) で活動すること。
  - 1班あたり、1日 2~3名の証言を収集することを想定しています。



証言聞き取りの様子

- ・証言収集日時及び場所については、証言者及び大学ゼミ等の都合に合わせた形で、各市町と大学コンソーシアム石川の間で調整します。
- ・撮影に必要な機材は大学コンソーシアム石川が準備し貸し出します。  
なお条件を満たす機材をお持ちの場合は、当該機材を利用することも可とします。
- ・証言収集後、発言内容の「文字起こし」と「HP掲載原稿案」を制作し、期限内に大学コンソーシアム石川に提出してください。
- ・原稿案制作にあたり、適宜、発言内容に沿った写真等を証言者や市町担当者から入手し、挿入してください。

#### <証言収集日時等の確定>

令和 7 年 7 月 (予定)

#### (4) 補助対象経費

対象区分	内容	単価
旅費交通費	<レンタカー費> 証言収集活動にあたりレンタカーを使用する場合	実費 ※上限10,000円/日
	<燃料費> 証言収集活動に伴い使用する自動車の燃料費用	28 円/km
宿泊費	現地に宿泊して証言収集活動を行う際の宿泊費 ※実施日時・場所等から現地に宿泊した方が効率的と判断した場合のみ	4,400 円/人・泊
原稿作成費	証言収集、発言内容の文字起こし及び原稿作成に係る費用 ※証言収集は学生2名で行い、対象者1名あたりの単価	14,000 円/人
その他	上記以外の費用で、大学コンソーシアム石川が特に必要と認める経費	—

#### <備考>

- ・撮影機材については、「大学コンソーシアム」から貸し出します。

- ・経費は上記単価での旅費交通費、宿泊費、原稿作成費と、その他円滑な証言収集のために必要な費用（事務用品、インタビュー時の飲料代、原稿書き起こし用物品購入など10万円程度）の総額を対象とします。
- ・上記の表に記載の無い、単価が5万円を超える物品等を購入する場合は、購入前に必ず大学コンソーシアム石川に確認してください。

#### 4. 応募方法

本事業への参加を希望する場合は、以下からお申込みください。

##### (1)応募方法

下記 URL、QR コードよりお申込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S90202275/>



- ・同一所属機関の複数ゼミ等が連携して取り組む場合、1つのゼミ等が代表して申請してください。
- ・委託料支払い手続きのため、所属の事務担当者に了承を得て申請してください。

##### (2)応募期間

令和7年4月16日（水）～5月8日（木）

#### 5. スケジュール（予定）

令和7年4月中旬	証言収集対象者の決定（県と市町で調整）
5月中旬	採択ゼミ決定・通知
5～6月	事業説明会の開催（メンタルケア講習）
7月	証言収集日時・場所の調整
8～9月	証言収集活動
10～11月	文字起こし、HP掲載原稿案制作
12月	HP公開

#### 6. 活動地域等の決定

- ・活動地域等については、大学コンソーシアム石川地域連携専門部会において検討し、結果をメールにてお知らせします。
- ・検討状況は非公開とし、各種お問い合わせには応じられませんのでご了承ください。
- ・1つの活動地域に複数のゼミ等から希望があった場合や、証言者数が多い地域等は、状況に応じて他大学のゼミ等との合同（分担）実施を依頼する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

## 7. 事業費の精算

- ・採択された大学ゼミ等には収支計画書をご提出いただきます。
- ・原則精算払いです。(難しい場合はご相談ください)
- ・事業終了後に収支報告書を提出していただき、確認後に大学コンソーシアム石川から所属大学等の指定口座に委託料を支払います。

## 8. 留意事項

- ・当該活動に係る収支を明らかにした書類を整備し、活動終了後 5 年間保存してください。
- ・学外活動を伴いますので参加学生等の傷害保険及び賠償保険の加入状況を確認してください。保険加入証明書の写しをご提出いただきます。(所属機関で加入の学研災及び学研賠も可)  
なお、新規で保険に加入される場合は、所属大学等の担当部署に取扱いを確認したうえで行ってください。保険料は経費対象です。
- ・地域課題研究ゼミナール支援事業との同時申請は可能ですが、同一日時に両方の活動をされる場合、経費の重複は不可とします。どちらかの経費として申請してください。  
<例> 旅費交通費、宿泊費、その他コンソが重複すると確認した経費

## 9. 問い合わせ

大学コンソーシアム石川事務局 地域連携専門部会 山本  
〒920-0962 金沢市広坂 2-1-1 石川県しいのき迎賓館 3 階  
E-mail:kadai@ucon-i.jp TEL:076-223-1633 FAX:076-223-1644